

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

修正高一巡で戻りを売られる

NY原油先物相場は、1バレル=74ドル水準で上げ一服となり、改めて70ドルの節目水準まで軟化している。5月4日の63.64ドルまで急落した後は、売られ過ぎ解消の形で反発局面に移行していたが、改めて戻りを売られる展開になった。米債務上限問題、米地方銀行の経営不安、世界経済の減速懸念などが改めて上値を圧迫している。一時は70ドルの節目を割り込んだ。

米債務上限問題に対する警戒感が強い。6月1日にも債務上限に到達する見通しがイエレン米財務長官から示されているが、議会では与野党の調整が遅れており、先行き不透明感が投資家のリスク選好性を後退させている。原油以外の産業用素材市況も総じて上値の重い展開になっており、その流れで原油相場も上値を圧迫される展開になった。債務上限に到達した際には、実体経済と金融市場の双方に大きな混乱が生じるリスクがある。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (5月5日時点) は、原油が前週比295万バレル増、ガソリンが317万バレル減、石油精製品が417万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

米債務上限問題が続くと、上値重い展開も続く

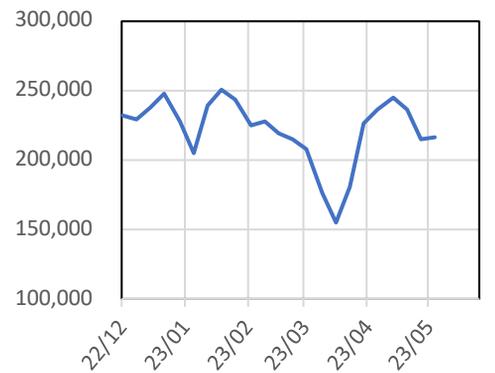
不安定なリスク投資環境が続くと、70ドルの節目割れから一段安が打診されよう。原油需給よりもリスク投資の地合が重視されており、米債務上限問題、米地方銀行の経営不安、世界経済の減速懸念などが維持されると、原油相場も65~70ドルにコアレンジを切り下げよう。特に米債務上限問題に対する関心が高まっており、このまま混乱状況が続くと原油相場の軟化も続き易い一方、議会在債務上限引き上げで合意に達すると下げ一服感が強まろう。

5月16日には国際エネルギー機関（IEA）月報が公表される。世界石油需要見通しの大幅な引き下げが行われると、下振れリスクが高まる。逆に4月と同様に年後半の需給ひっ迫リスクに強い警戒感が示されると、下値が固まり易くなる。

5月16日には中国の4月鉱工業生産、4月小売売上高などが発表される。ここで中国経済の4~6月期成長に懐疑的な見方が強まると、下振れリスクが高まろう。

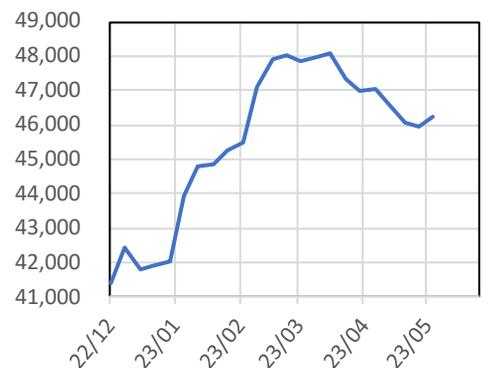
一方、急激な原油安に対して産油国の反応は鈍い。6月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を予定しているが、5月に追加減産に踏み切ったばかりであり、政策調整を巡る議論は活発化していない。ただし、米石油リグ稼働数の減少傾向は続いており、昨年末の621基から586基まで減少している。また、グランホルム米エネルギー長官は戦略石油備蓄（SPR）について、議会から義務付けられた4~6月期の売却終了後に、SPR向け原油の搬入を開始する方針を示している。米政府内でも、シェールオイル産業の持続性が喪失されかねない安値との警戒感が強まり始めていることが窺える。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



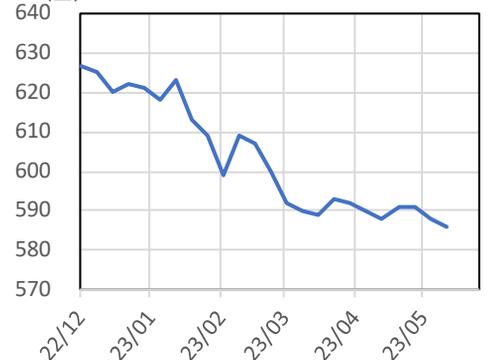
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

